

人物試験対策講座 講義編

人物試験（人事院面接）は個別面接で、時間も 15～20 分程度と短く、事前に提出した面接カードに従って、質問される形式なので、筆記試験に比べると相当軽視される傾向がある。しかし、配点は想像以上に高く、さらに、院卒区分および教養区分受験者の場合、面接は政策課題討議試験の直後に実施されるため、体力・精神的に疲弊した状態で迎えることになり、集中力の持続が課題となる。人物試験に苦手意識を持ってしまうと、最終関門である官庁訪問突破もおぼつかないことから、入念な準備が必要である。

第 1 節：人事院面接の概要

✧ 主旨・概要

人柄、对人的能力などについての個別面接（15～20 分程度で、受験者 1：面接官：3）。事前に提出した面接カードに従って、質問される。

配点：教養区分 6 / 28（1 次試験の基礎能力試験（ⅠⅡ）合計よりも比重が高い！）

それ以外 3 / 15（1 次試験の基礎能力試験よりも高く、専門択一試験と配点比重が同じ）

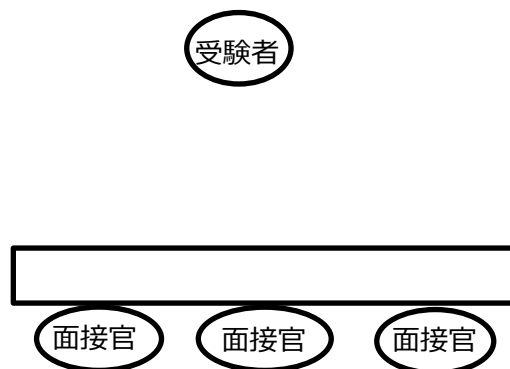
- ・面接日時について、教養および院卒区分の場合、例年、同じ日に実施される「政策課題討議」の直後に行われる。
- ・その他区分は例年、二次試験（筆記試験）時に通知される（院卒だけは別途通知）。

教養区分・院卒区分受験者へ

…政策課題討議試験よりも配点が高い！しかも、面接は政策課題討議試験の直後に実施されるため、体力・精神的に疲弊した状態で迎えることになるので、集中力の持続が必要。

✧ 試験実施方法（過年度の事例なので、変更される可能性もあります！）

- ① 座席が下記のように配置され、受験者 1 名に対し面接官 3 名（通常、真ん中の面接官は人事院の職員で、この人が主に質問する）となっている。



- ② 基本的に面接カードの記述内容に沿って質問がなされる。

※ 評価について（年によって、点数は若干変動する）

総合判定	A	B	C	D	E
標準点（2023 教養）	177	137	100	63	－
標準点（2024 学部）	167	132	95	59	－
標準点（2024 院卒）	167	129	93	56	－

総合判定がEの場合は、他の試験種目の成績にかかわらず不合格となる。

【参考】本試験における各区分の最終合格点（いずれも 1000 点満点）

2023 教養区分：496 点（1 次試験合格点 107 点）

2024 院卒区分（行政）：382 点（1 次合格点 91 点）

2024 政治国際人文：528 点（1 次合格点 186 点）

2024 法律：554 点（1 次合格点 218 点）

2024 経済：527 点（1 次合格点 186 点）

1 次試験は教養試験と専門試験の合計（教養区分除く）で、試験時間も丸一日要することを考慮すると、現代の公務員試験において、わずか 15 分ほどの人物試験が如何に重要視されているかに、もっと思いを馳せてほしい。